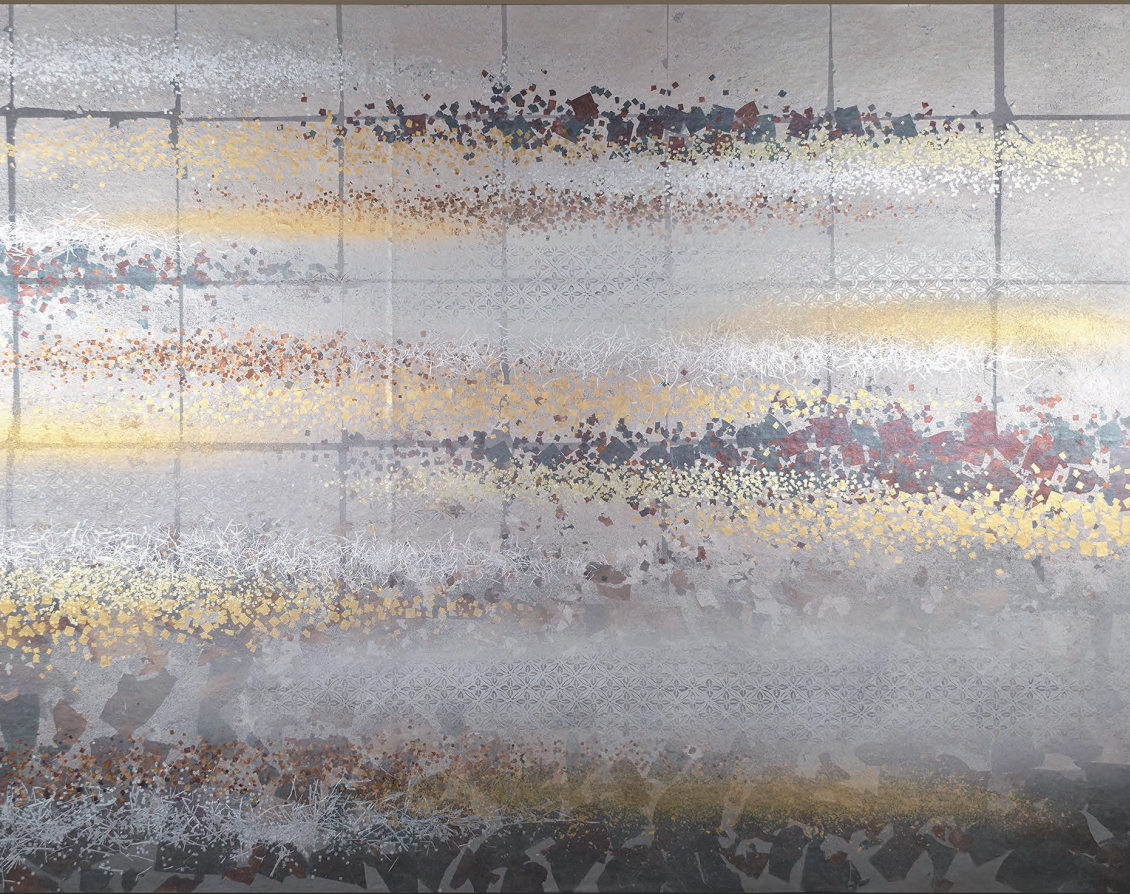


金銀砂子細工の景色

菊池襖紙工場
100年の手仕事



株式会社菊池襖紙工場は、手捺染の職人集団による襖紙の加工所として、1924年、関東大震災からの復興さなかの東京下町で創業しました。それから100余年、大型印刷機による大量生産やDIY商材など、時代の変化に応えながらものづくりに取り組む一方、日本古来の襖紙装飾技法の継承にも力を注いできました。伝統に学び、現代に寄ろうことで、長年培われた技術をいまの暮らしに生かす、新たなものづくりを提案し続けてまいります。

金銀砂子をはじめとする伝統技法を用いた、菊池襖紙工場の手加工技術をぜひご覧ください。





金雲砂子金泥引き襖4枚立て | 上部：泥霞引き、腰部：腰雲金砂子

襖の美

襖が日本で生まれたのは、約 1000 年前の平安時代といわれています。以来、四季を通じて変化する日本の気候風土に適した建具として、今日まで受け継がれてきました。襖は空間を仕切る建具であると同時に、時にはその場にふさわしい装飾が施され、施主の趣向や意図を表す「空間演出装置」の役割も担ってきました。

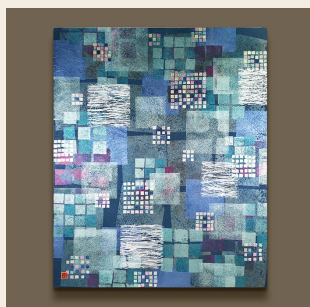
写真の「金雲砂子金泥引き襖」は、金銀箔を用いた砂子技法による代表的な意匠のひとつです。神社仏閣をはじめ、宿泊施設や料亭、個人邸宅まで、幅広いシーンで使用されます。



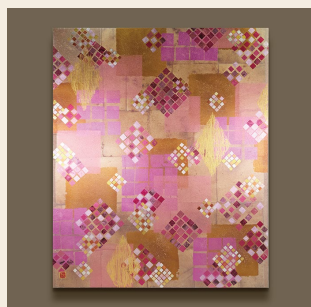
金雲砂子霞パネル(白露)
和紙、本金泥、本金箔、本銀箔、木製パネル



金銀砂子の匠 アートパネル輝き『輝銀 (KIGIN)』
和紙、本銀箔、代用箔、額装



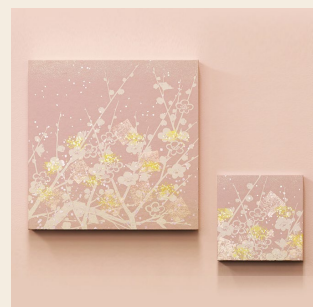
「時の静謐」
『雅』のアートパネルシリーズ
和紙、本金箔、本銀箔、代用箔、木製パネル



「光彩の譜」
『雅』のアートパネルシリーズ
和紙、本金箔、本銀箔、代用箔、木製パネル



扇子「百花の王」／扇子「かざはな」
和紙、中国顔料およびアクリル手描、本金箔、本銀箔、竹／小川和紙、日本画顔料、パール、銀泥、本金箔、本銀箔、竹



逸品集『はれ／うめ(春梅)』
和紙、本銀箔、代用箔、木製パネル



菊池襖紙工場のご紹介

株式会社菊池襖紙工場は、1924 年より続く襖紙の製造工場です。伝統的な江戸からかみ・砂子の技術を用いる一方で、大型印刷機を導入した襖紙・壁紙の生産も行っております。

時代とともにものづくりが変化する中、日本古来の装飾技術を継承していくため、伝統工芸の専門チームとして、2015 年に伝統工芸室を設立。主にオーダーメイドの襖絵制作や、神社仏閣・旧邸宅の和紙装飾の復元などに取り組んでいます。

ウェブサイトや SNS でも、伝統工芸室の活動や制作事例、手加工による作品などをご紹介します。ぜひご覧ください。



伝統工芸室
Instagram



株式会社菊池襖紙工場
www.fusuma.co.jp